

<p>基本的な視点1</p>	<p>世田谷区の特徴を活かした教育・保育の推進</p>
<p>目的</p>	<p>世田谷区の子どもが乳幼児期に育む力である「自立と協同」「表現と共感」「健やかな身体」「試行錯誤」「関心と探求」を培うことを目的に、子ども計画（第2期）及び第2次教育ビジョンの理念を踏まえ、区がこれまでに取り組んできている「ことばの力の育成」や「外遊びの推進」など、世田谷の特徴を活かした教育・保育を行っていく。</p>
<p>取組み例</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 世田谷区の特徴を活かした幼児教育・保育の取組み 「ことばの力」の育成（教科「日本語」） 「体力向上」の推進（世田谷3快プログラム～快眠・快食・快運動～） 「外遊び」の推進 - 遊びの創造性 文化・芸術とふれあうための各園等施設における環境づくり支援 2 世田谷区における乳幼児期の教育・保育を支援するための具体的な取組みの計画化 3 乳幼児期における教育・保育と小学校教育の円滑な接続の仕組みづくり 4 「世田谷区保育の質ガイドライン」の普及・促進
<p>現状と課題</p>	<p>未就学児保護者が幼稚園・保育園等に求めていること（そう思う、どちらかというと思うあわせて9割以上の項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立ができるようにしてほしい（91.3%） ・友だちと仲良く遊べるようにしてほしい（92.3%） ことばの力の育成 ・集団生活のルールを教えて欲しい（92.8%） ことばの力の育成 ・体を動かす遊びを増やして欲しい（91.2%） 体力向上の推進 ・自然と触れ合う機会を増やして欲しい（92.4%） 外遊びの推進、文化・芸術 ことばの力 ・ことば遊びや数遊びなどの文字や数に興味を持てる機会をつくってほしい（86.9%） 文化・芸術 ・絵を描くことや作品をつくることなどに機会を増やして欲しい（87.2%） ・音楽に興味を持てるような機会をつくってほしい（88.0%） <p>未就学児保護者で、子どもを習い事に通わせている方に、その理由は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくりのため（42.6%） 体力向上の推進 ・感性を豊かにするため（40.4%） 文化・芸術 <p>4・5歳児の保護者に、小学校入学までに身に付けさせたいことは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや返事を進んですること（85.5%） ・早寝・早起きなど規則正しい生活習慣を身に付けること（78.6%） 体力向上の推進 ・自分の気持ちを言葉で伝えること（74.9%） ことばの力の育成
<p>資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科「日本語」検証・検討委員会 報告書 抜粋 2 平成28年度「心と体の元気アップ『世田谷3快プログラム～快眠・快食・快運動～』」の取組みについて【概要版】 3 「世田谷区保育の質ガイドライン」

基本的な視点2	乳幼児期における教育・保育の充実																																																																																											
目的	世田谷区ではこれまで、「世田谷区保育の質ガイドライン」を定め、保護者、事業者、地域、行政等が考えを共有し、連携・協力して取組みを進めてきました。生涯の中で最も発達・成長の著しい乳幼児期の教育・保育の重要性を改めてとらえ、子ども一人ひとりの特性に応じ、乳幼児期における教育・保育の充実を図っていく。																																																																																											
取組み例	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児期における教育・保育の理解促進 2 乳幼児一人ひとりの特性に応じた教育・保育の充実 3 配慮が必要な乳幼児に対する対応の充実 4 保育環境の整備 子どもの遊びに向けた教材の充実 																																																																																											
現状と課題	<p>幼稚園教員及び保育士等に求められる、重視しているスキルは</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保育士</th> <th>幼 教</th> <th>保育園長</th> <th>幼稚園長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育的愛情を持ってかかわる</td> <td>27.5</td> <td>36.5</td> <td>20.7</td> <td>59.5</td> </tr> <tr> <td>発達を理解し、見通しを持って計画する</td> <td>52.4</td> <td>40.1</td> <td>66.2</td> <td>31.0</td> </tr> <tr> <td>幼児の内面を理解する</td> <td>30.3</td> <td>53.3</td> <td>21.4</td> <td>42.9</td> </tr> <tr> <td>保育技術を高める</td> <td>12.7</td> <td>7.6</td> <td>12.4</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>子どものよさや可能性を伸ばす</td> <td>48.9</td> <td>48.2</td> <td>31.7</td> <td>21.4</td> </tr> <tr> <td>発達に合った教材を準備する</td> <td>6.0</td> <td>3.6</td> <td>1.4</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>一人ひとりに応じた発達を促す援助をする</td> <td>56.6</td> <td>52.8</td> <td>44.1</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>職員間の協力体制をつくる</td> <td>30.4</td> <td>23.9</td> <td>57.9</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>言葉かけ、援助などの実践力をつける</td> <td>26.8</td> <td>23.9</td> <td>30.3</td> <td>31.0</td> </tr> <tr> <td>記録をつける指導を改善する</td> <td>0.6</td> <td>1.5</td> <td>1.4</td> <td>7.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>保育の質の担保・向上のために重要だとかんがえることは</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保育園長</th> <th>幼稚園長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもに対する保育者の人数</td> <td>43.4</td> <td>28.6</td> </tr> <tr> <td>保育者の経験年数</td> <td>8.3</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>保育室の面積</td> <td>7.6</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>園庭の面積</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>遊具等施設・設備</td> <td>9.0</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td>教育課程・指導計画の作成と改善</td> <td>18.6</td> <td>40.5</td> </tr> <tr> <td>保育者の専門性の向上</td> <td>84.8</td> <td>69.0</td> </tr> <tr> <td>保育内容の評価</td> <td>29.7</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td>研修等育成</td> <td>32.4</td> <td>35.7</td> </tr> <tr> <td>保護者との良好な関係</td> <td>38.6</td> <td>35.7</td> </tr> <tr> <td>地域との良好な関係</td> <td>9.0</td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table>		保育士	幼 教	保育園長	幼稚園長	教育的愛情を持ってかかわる	27.5	36.5	20.7	59.5	発達を理解し、見通しを持って計画する	52.4	40.1	66.2	31.0	幼児の内面を理解する	30.3	53.3	21.4	42.9	保育技術を高める	12.7	7.6	12.4	16.7	子どものよさや可能性を伸ばす	48.9	48.2	31.7	21.4	発達に合った教材を準備する	6.0	3.6	1.4	9.5	一人ひとりに応じた発達を促す援助をする	56.6	52.8	44.1	33.3	職員間の協力体制をつくる	30.4	23.9	57.9	38.1	言葉かけ、援助などの実践力をつける	26.8	23.9	30.3	31.0	記録をつける指導を改善する	0.6	1.5	1.4	7.1		保育園長	幼稚園長	子どもに対する保育者の人数	43.4	28.6	保育者の経験年数	8.3	16.7	保育室の面積	7.6	0.0	園庭の面積	4.8	4.8	遊具等施設・設備	9.0	7.1	教育課程・指導計画の作成と改善	18.6	40.5	保育者の専門性の向上	84.8	69.0	保育内容の評価	29.7	7.1	研修等育成	32.4	35.7	保護者との良好な関係	38.6	35.7	地域との良好な関係	9.0	9.5
	保育士	幼 教	保育園長	幼稚園長																																																																																								
教育的愛情を持ってかかわる	27.5	36.5	20.7	59.5																																																																																								
発達を理解し、見通しを持って計画する	52.4	40.1	66.2	31.0																																																																																								
幼児の内面を理解する	30.3	53.3	21.4	42.9																																																																																								
保育技術を高める	12.7	7.6	12.4	16.7																																																																																								
子どものよさや可能性を伸ばす	48.9	48.2	31.7	21.4																																																																																								
発達に合った教材を準備する	6.0	3.6	1.4	9.5																																																																																								
一人ひとりに応じた発達を促す援助をする	56.6	52.8	44.1	33.3																																																																																								
職員間の協力体制をつくる	30.4	23.9	57.9	38.1																																																																																								
言葉かけ、援助などの実践力をつける	26.8	23.9	30.3	31.0																																																																																								
記録をつける指導を改善する	0.6	1.5	1.4	7.1																																																																																								
	保育園長	幼稚園長																																																																																										
子どもに対する保育者の人数	43.4	28.6																																																																																										
保育者の経験年数	8.3	16.7																																																																																										
保育室の面積	7.6	0.0																																																																																										
園庭の面積	4.8	4.8																																																																																										
遊具等施設・設備	9.0	7.1																																																																																										
教育課程・指導計画の作成と改善	18.6	40.5																																																																																										
保育者の専門性の向上	84.8	69.0																																																																																										
保育内容の評価	29.7	7.1																																																																																										
研修等育成	32.4	35.7																																																																																										
保護者との良好な関係	38.6	35.7																																																																																										
地域との良好な関係	9.0	9.5																																																																																										

現在実施している事業	保育課	私立幼稚園	区立幼稚園
	療育機関による巡回相談 園だより、クラスだより、栄養だより、保健だより等の発行 保育の質ガイドライン 保育ポータルサイト メルマガ発行 保育ネットによる入園相談会の実施 すくすくメッセでの相談会実施	総合福祉センター及び発達障害療育センターによる巡回相談 体験保育、園庭開放の実施 園だよりの発行 園のご案内の作成 ホームページによる自園の情報提供	総合福祉センターによる巡回相談 就園相談会（要配慮児） 園庭開放、未就園児の会 園だよりの発行

基本的な視点3	保育者等の資質及び専門性の向上			
目的	質の高い教育・保育を推進するためには、日常の多くの時間を子どもと共に過ごす保育者等の専門的な知識や技術、力量の向上が課題となります。 経験や役割等に応じたきめ細やかな研修体制や、キャリアアップの仕組みづくりを行い、公私立幼稚園・保育所等と連携し、職員個人のみならず、施設全体の専門性の向上に向けた取組みを進めます。			
取組み例	1. 保育者等研修制度の体系化やキャリアパス制度の設計 2. 公開保育などによる保育者等研修制度の設計 3. 幼児教育アドバイザーの育成及び制度の充実 4. 大学との連携（インターンシップや教育・保育実習の受入れ）			
現状と課題	<p>幼稚園・保育所等ともに保育者の1/3が採用5年未満 幼稚園教員の約50%、保育士の約38%が30歳未満 保育者の資質向上のために必要なことについて、保育士・幼稚園教員とも園外研修への参加促進がそれぞれ約55%、44%</p> <p>保育園長が、特に重点的に取り組んでいる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児の保育の充実（47.6） ・幼児の保育の充実（30.3） ・保護者への情報発信（24.8） ・若手保育者の育成・資質向上（35.9） ・保育者同士が学びあう風土づくり（28.3） ・園内研修の充実（28.3） <p>幼稚園長が、特に重点的に取り組んでいる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の保育の充実（69.0） ・保護者への情報発信（26.2） ・若手幼稚園教諭・保育教諭の育成・資質向上（35.7） ・園内研修の充実（21.4） <p>保育園長が、保育者の資質向上のために必要なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の充実（69.0） ・園外研修の参加促進（53.1） ・経験年数に応じた年次研修の充実（45.5） ・保育内容に対する評価・改善の実施（49.7） ・保育者の増員や待遇改善（61.4） <p>幼稚園長が、保育者の資質向上のために必要なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成課程の実習指導の充実（33.3） ・園内研修の充実（61.9） ・園外研修の参加促進（64.3） ・経験年数に応じた年次研修の充実（54.8） ・管理職による指導力向上（33.3） ・教育内容に対する評価・改善の実施（47.6） ・幼稚園教諭・保育教諭の増員や待遇の改善（40.5） 			
現在実施している事業		保育課	私立幼稚園	区立幼稚園
	研修	テーマ別研修 地域別自主研修助成 各園での園内研修 保育ネット合同研修 巡回指導相談の実施 療育機関による巡回相談 就職相談会	教職員研修会 園長、設置者研修会の実施 各園が外部機関が行う研修に教員を派遣 総合福祉センター及び発達障害療育支援センターによる巡回相談	総合福祉センターによる巡回相談 指導力向上サポート室による巡回指導

研究	公立保育園研究会 副園長会テーマ研究 自主研究グループへの発表支援 栄養士公立・私立合同意見交換会 看護師公立・私立合同意見交換会 大学と保育園との意見交換会	研究指定園の指定 研究発表大会の実施	研究指定校 区立幼稚園教育研究会
----	--	-----------------------	---------------------

基本的な視点4	幼稚園・保育所（施設）・認定こども園・小学校の連携				
目的	幼稚園・保育所・認定こども園・小学校が相互の教育内容を理解し、子どもの発達や学ぶ意欲の観点から、連携しあう意識を高めることが重要です。乳幼児の自発的な活動としての「遊び」や「日常生活における体験」による教育から小学校以降におけるいわゆる教科指導中心の教育へと円滑な接続を図るために、幼稚園・保育所（施設）・認定こども園・小学校の連携を促進するための仕組みづくりを進める。				
取組み例	1．合同研修・研究の企画実施 2．情報交換や相互理解の促進（仮称）世田谷区幼児教育・保育情報連絡会の設置 3．乳幼児期における教育・保育と小学校教育の円滑な接続 アプローチ・スタートカリキュラムの普及・促進				
現状と課題	小学校との連携を見据えた幼保連携のあり方として特に望ましいと思う活動は何ですか。				
		保育士	幼 教	保育園長	幼稚園長
	幼稚園と保育園等の子どもが互いの園に訪れ、ともに活動する	48.2	34.0	51.0	31.0
	幼稚園教諭と保育士が交流し、互いの手法・スキルを学び合う	43.7	36.5	45.5	38.1
	同じ地域の幼稚園教諭と保育士がそれぞれの子どもの情報を共有する	27.9	21.3	26.2	19.0
	幼稚園と保育園等が共通した幼児教育・保育の考え方に立つ	26.9	22.8	30.3	11.9
	互いの研究・研修会に参加する	19.9	15.7	22.1	19.0
	連携を主眼とした活動・行事を共同で開催する	16.0	14.7	21.4	4.8
	合同で研修を行う	23.4	16.8	25.5	33.3
	連携する必要はない（それぞれで小学校と連携すればよい）	7.6	17.3	6.2	28.6
	幼稚園・保育園から小学校への円滑な接続ということを課題と捉えていますが、保幼小連携を進めるにあたっての課題は何だと思いますか。				
		保育士	幼 教	保育園長	幼稚園長
	幼児教育、保育、学校教育はそれぞれ目的が異なる	41.0	42.9	31.0	42.9
	幼稚園と保育園等では子どもへの対応に違いがある	27.8	38.1	22.1	38.1
幼稚園・保育園等と小学校では子どもへの対応に違いがある	32.3	38.1	25.5	38.1	
幼稚園教諭と保育士の考え方が異なる	19.1	26.2	15.9	26.2	
幼稚園教諭・保育士と小学校教員の考え方が異なる	23.7	16.7	22.1	16.7	
幼稚園・保育園等が保幼小連携の必要性を認識していない	7.6	11.9	6.9	11.9	
小学校教員が保幼小連携の必要性を認識していない	10.8	16.7	20.0	16.7	
小学校と連携することで幼児教育・保育の質が変わる	10.5	23.8	11.7	23.8	
早期教育の実施は子どもの発達に与える影響が懸念される	12.5	14.3	15.2	14.3	

要領や指針に記された目的が達成されなくなる	2.8	14.3	0.7	14.3
子どもが活動する時間がとれない	7.6	64.3	2.8	14.3
小学校教員・幼稚園教諭・保育士が連携・交流する時間がとれない	49.2	38.1	51.0	64.3
保幼小連携をコーディネートする人材がいない	35.2	38.1	44.1	38.1
小学校教員が学校生活をゼロからのスタートと考えている	5.2	11.9	7.6	11.9

基本的な視点5	家庭・地域との連携			
目的	未就学児の子育て家庭においては、3世代家庭が少なく、核家族化が進んでいる。地域の絆の希薄化や家庭の養育力の低下が指摘されているなか、家庭教育への支援を充実するとともに、地域全体で子どもを見守り、子育て家庭を支える取組みを進める。			
取組み例	1. 乳幼児期における教育・保育の理解促進 2. 家庭教育の支援 子育て講座の実施等 子育てに関する情報提供の推進 3. 地域の人材や地域資源活用など地域との連携・強化 4. 未就園児の円滑な幼稚園等への就園促進 5. 幼稚園・保育所等及び保護者等によるネットワークづくり			
現状と課題	地域の子どもや子育て世帯に対して支援活動を取り組んでいますか。			
		保育園長	幼稚園長	
	地域の子どもを対象とした園庭の開放	51.0	31.0	
	入園前の家庭に対する体験保育	54.5	61.9	
	子どもとの関わり方について理解を深めるための情報提供	48.3	42.9	
	子どもとの関わり方について理解を深めるための体験の場の提供	50.3	11.9	
	地域の専門機関とつながるための支援	36.6	19.0	
	食育を意識した調理実習等の情報提供	37.2	11.9	
	子育てについて気軽に相談できる場や機会の提供	64.8	26.2	
	その他	15.2	14.3	
	地域交流・連携として行っていること、必要だと思う取組みは何か。			
		現在行っていること		必要だと思う取組み
		保育園長	幼稚園長	保育園長 幼稚園長
	運動会等行事の運営補助	12.4	32.0	15.7 24.2
	保育の補助	12.4	12.0	14.9 9.1
読み聞かせ等、本に関する活動	23.0	32.0	33.6 39.4	
通園時のパトロール	2.7	0.0	20.9 30.3	
給食・調理の補助	7.1	4.0	6.0 0.0	
地域活動への園児・児童参加	40.7	40.0	59.7 48.5	
園外体験の補助・参加	28.3	24.0	38.8 33.3	
園児・児童への講師を依頼	14.2	20.0	30.6 36.4	
地域の文化・昔遊び等の活動	23.9	36.0	67.9 54.5	
その他	27.4	20.0	11.9 9.1	
現在実施している事業	保育課	私立幼稚園	区立幼稚園	
	子育て相談支援事業 地域保育ネット	園による育児・教育相談の実施 保護者(含未就園児)向けの講演会の実施	未就園児の会	